



オルテリウス「新アジア図」（1575年）における日本地図

アブラハム・オルテリウスは師メルカトルと並ぶ最も有名な16世紀の地図製作者である。1570年に史上初の近代的な地図帳『地球の劇場』Theatrum Orbis Terrarumを刊行した。上掲地図は、この『地球の劇場』第2版所収の「新アジア図」から日本の部分を抽出したものである。日本各地の地理情報はイエズス会士の報告集における文字情報に基づいている。そのためか、豊後が本州に、鹿児島が九州の東海岸に、大坂が都よりも北東に位置づけられるなどの齟齬が散見される。

日文研所蔵西洋古版日本地図（解説：フレデリック・クレインズ教授）